

成人式を迎えて

新成人

廣田 夏海

この1月に晴れて成人式を迎え、ようやく大人の仲間入りができました。成人式当日は、中学校時代の友人や恩師の方々にお会いすることができ、思い出話に花が咲く充実した時間を過ごすことができました。

中学校卒業後、田布施農工高校の食品科学科に進みました。専門的な高校のため、栄養バランスを考えた食事やエネルギー量の計算、国内の高校で唯一生産している日本酒など、そこでしか学べないことがたくさんありました。

また、バレンタインやクリスマスなどのイベントでは、クラスの人々などお菓子を持ち寄ったり、演習でグループごとに考えた課題を解決するために試行錯誤したり、とても濃い3年間でした。食品のことを学ぶ中で、生きることの大切さを知り、皆が健康に過ごせるお手伝いをしたいと思い、大学では看護の道に進みました。

高校のときとは方向性が変わり、看護の専門的な知識や、ケアをすることの難しさ、患者さんに合ったコミュニケーションの取り方などを、現在勉強中です。

最近では、実習のため病院で過ごす時間が増え、記録にも追われ大変なのですが、その度に保育園からの幼なじみに電話をすると、仕事や学校の話をして、「みんなも頑張っているから私も頑張ろう。」と元氣になります。

将来は、患者さん一人ひとりにあった日常生活援助を行うことはもちろん、患者さんやそのご家族に寄り添える看護師になりたいと思っています。

20歳になった今、私が選択した道はとても厳しいですが、有意義でもあります。この道に進むことができたのは、つらい時にも「大丈夫だよ。」と支えてくれた両親や家族、友人がいたからです。

2年後には大学を卒業し社会人となり、今まで以上に困難に直面することが多くなると思います。

しかし、今学んでいることを糧に、どんな時でも人を思いやる心を忘れず、支えてくれる人になりたいと思います。

No.196

サークルウォッチング

田布施町邦楽舞踊連盟

■連絡先

代表者：徳永 冠山

☎52-1831



3月10日（日）、西田布施公民館で開催された第30回邦楽・舞踊発表会におじゃましました。

田布施農工高校邦楽部のみなさんによる箏曲から始まり、日舞や吟詠などさまざまな演目がありました。フィナーレは30年記念作品『花は咲く』で、箏や尺八などの演奏と日舞や合唱の共演で、感動的なエンディングとなりました。

邦楽や舞踊の魅力を、出演者にお尋ねしてみました。

「箏は押さえる位置で音が変わったり、柱の位置によって弾ける曲も変わってくる。そこがとても面白い。」「日本舞踊とは古典に根ざし、詩を身体で表現することではないでしょうか。日舞を始めて72年になります。が、追究することでここまで続けてこられたと思います。」

下は小学校1年生から上は80代まで年代の幅も広く、中には第1回から出演しているという人もいらっしました。発表会では、厳かな雰囲気の中、日本の伝統や美の極意を肌で感じることができ、身も心も引き締まるようでした。

「第30回の発表会を迎えることができたのは、皆様のあたたかいお力添えのおかげです。会員一同心より感謝しております。」とおっしゃるのは、連盟の会長である徳永さん。まずは邦楽・舞踊をいろんな人に知ってほしいそうです。興味を持った人はぜひ一緒に楽しんでみませんか？

